

薄田雅人 (すすきだ・まさと) :

### 【経歴】

1960年鎌倉市生まれ。

1978年、哲学者の市井三郎氏（故人）に師事すべく、成蹊大学文学部に入学。市井ゼミで現代中国研究者の加々美光行氏（愛知大学名誉教授、当時はアジア経済研究所調査研究部員）と出会う。同校卒業後、加々美氏に師事し、足繁くアジア経済研究所に通い、中国語の特訓を受けた。その後、文部省派遣国費留学生として復旦大学中文系に留学（1984～86年）。帰国後は、日本国際貿易促進協会に就職し、森田堯丸（故人）理事長秘書、金融投資協力部、投資推進チーム課長等を歴任した。1997年に海外投資経営コンサルタントとして独立。中国滞在年数は上海、大連、北京等で、延べ10年余にわたる。中国語、英語ともに堪能である。

総じて、1980年代は管理貿易コーディネーター（日中間大宗商品統一商談事務局）、90年代は日本の製造業の中国での生産拠点立上げ（直接投資経営）支援、2000年以降は、メイド・イン・ジャパン製品の中国市場での売込みで実践経験を積んだ。

一方2003年に発表した2冊の著書では、「安心安全」「生真面目」が特徴の日本製品に、中国国内市場での巨大な可能性があるといち早く指摘。その後の中国人による「爆買い」を予言した。

2004年からは国産パッケージソフトウェア（字幕制作ソフトウェア、字幕ソリューション）の国際展開に携わり、2006年から09年まで日系ソフトウェア企業総経理（社長）として北京に駐在、CCTV（中国中央テレビ）をはじめとする国有大型企業への製品納入を成功させた。

2015年以降は中国企業の対外投資をプロモートするという新たな事業領域に着目している。

中国人脈はきわめて豊富で、党政幹部、法曹界、産業界、金融界、放送業界、学界、文芸界、医薬保健業界等を網羅している。東南アジア、北米、日本国内の華僑華人、欧米の産業界にも友人知己が多い。

### 【公職】

通商産業省・中小企業のグローバル化戦略のあり方に関する調査研究委員会委員、(社)中小企業国際センター（中小企業金融公庫外郭団体）中国投資特別研究会コーディネーター。(社)中小企業国際センター主任研究員、(社)中国研究所正会員、(株)住信基礎研究所客員研究員、中国遼寧省丹東市、東港市人民政府経済顧問、遼寧省計算機学会亜洲IT産業研究専門委員等を歴任した。

東京商工会議所・中小企業国際展開アドバイザー、NPOアジアITビジネス研究会顧問、産業学会会員。

### 【専門領域および事業プロモーション実績】

中国での投資経営コンサルティングと事業プロモーション。国際企業間アライアンスの構築、ビジネスモデル策定。1988年以降、黒龍江省、遼寧省、河北省、北京市、天津市、上海市、汕頭経済特区、厦門経済特区、広東省、湖南省、四川省等で、合弁・独資・合作等様々な形態による日系企業の設立、経営支援、撤退回収、中国国内市場向け販売体制の構築、中国地方政府、国有企業に対する事業コンサルティングを数多く手掛けてきた。

### 【著書】

「海を越える経営一日中合弁企業・浙江機電の10年」（中央経済社）

「アジアビジネスはどこにいくのかー新・アジア経営戦略」（総合法令出版、共著）

「亜洲経済ー該何去何従」（新雨出版社〈台湾〉、中国語版）

「中国で勝つー鳴動する13億巨大市場攻略の条件」（総合法令出版）

「一気にわかる現代中国ー巨大国家のいま」（池田書店）等

以上